



目黒区のみどりと生物多様性の 現状と課題

資料の内容

- みどりの現状と課題
- 生物多様性の現状と課題
- みどりと生物多様性に関する社会情勢の変化
- その他の調査
 - 区民意向の把握
 - 公園等利用実態調査（速報）
 - 生物調査



みどりの現状と課題

みどりの現状

(1) 概要

- 目黒区は武蔵野台地の東端に位置し、東側に目黒川、西側に呑川が流れ、北東部に淀橋台、中央部に目黒台、南西部に荏原台と呼ばれる台地が地域の骨格を形成している。
- 主要なみどりとして「駒場公園」、「駒場野公園」、「菅刈公園」、「中目黒公園」、「碑文谷公園」、「中根公園」などがあり、区境には2つの都立公園がある。



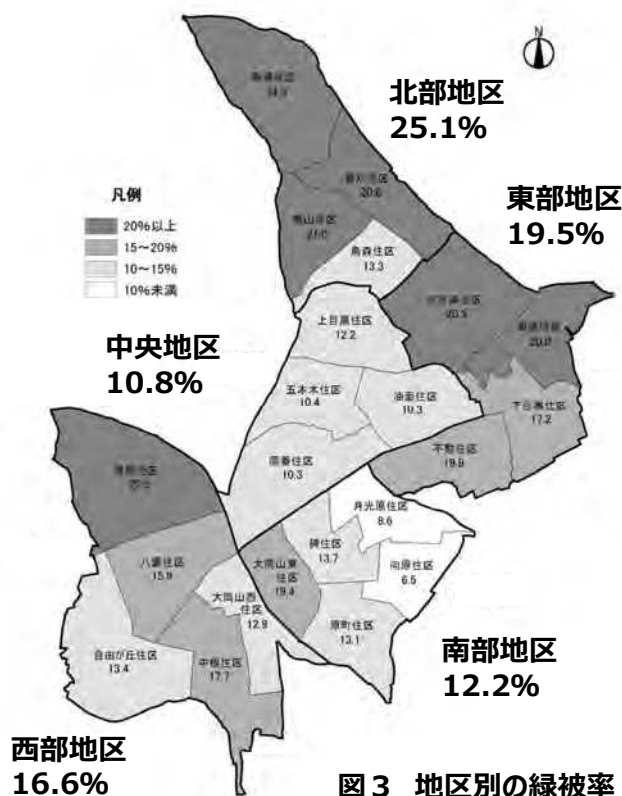
図1 目黒区の地形

※分かりやすさのため、実際の起伏を強調し表示

みどりの現状

(2) 緑被率の実態

- 2023年度の緑被率は17.0%であり、その構成は樹木（14.7%）、草地（1.7%）、屋上緑地（0.5%）、農地（0.1%）である。
- 地区別の緑被率は、北部地区が25.1%と最も高く、次いで東部地区が19.5%となっている。一方で、中央地区は10.8%と区内で最も低い。
- 住区別では向原住区が6.5%、月光原住区が8.6%と、南部地区において局所的に緑被率が低くなっている。



みどりの現状

(3) 緑被率の推移

- 2023年度の緑被率（17.0%）は、2014年度より0.3ポイント減少し、目標値（20%）を下回る。
- 住居系の用途地域の緑被率は全体の約90%を占め、第一種低層住居専用地域において緑被率が最も減少（-1.4ポイント）。

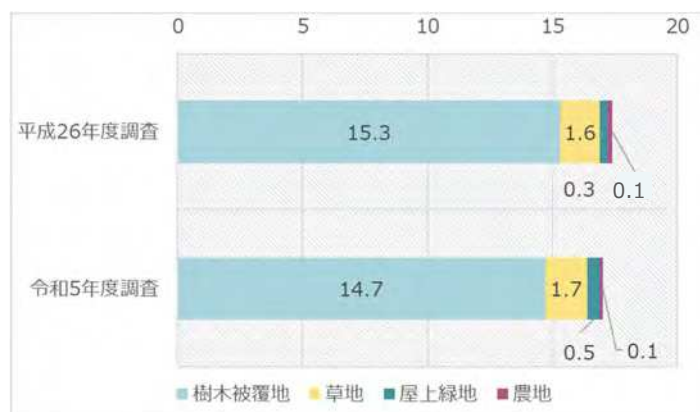


図4 緑被率の推移

みどりの現状

(4) 樹林の推移

- 2014年度より、樹林の箇所数が239箇所、面積が185,986㎡減少。
- 300～5,000㎡の比較的小規模な樹林が減少する傾向。

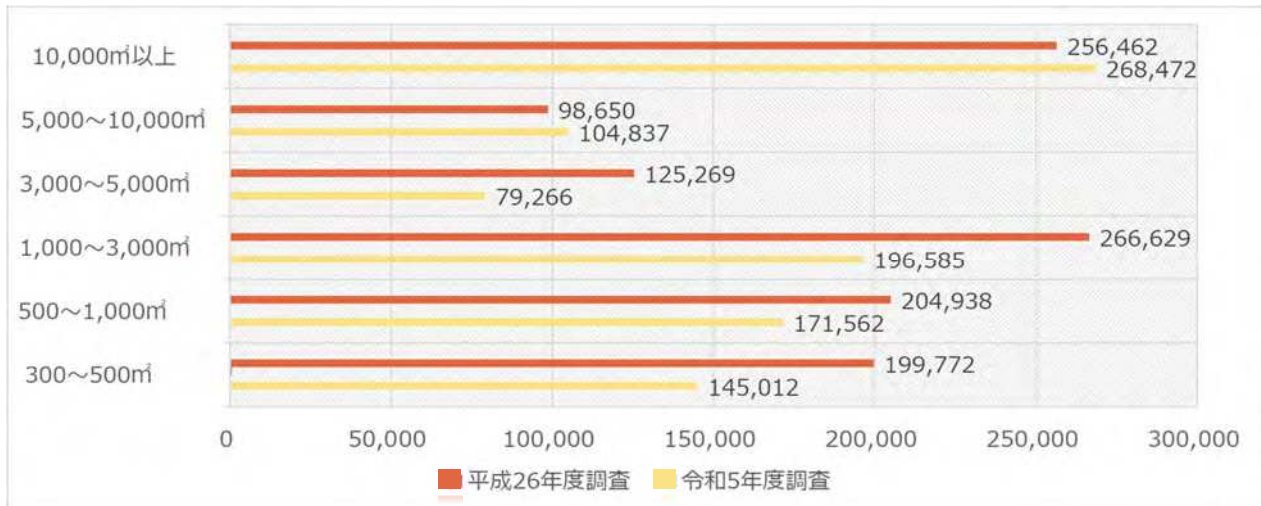


図5 樹林面積の推移

みどりの現状

(5) 生け垣・屋上緑化・壁面緑化の推移

- 生け垣は区全体で455箇所、総延長は18,356mであり、2014年度と比べて14箇所、46mの減少（東根住区では22箇所、666m減少）。
- 屋上緑化面積は72,249㎡であり、2014年度と比べて35,014㎡増加。
- 壁面緑化は40箇所、3,014㎡であり、2014年度と比べて22箇所、2,410㎡増加。ただし、屋上緑化と比べて技術的課題、維持管理の課題があり、助成実績が2014年度以降は3件と実績が進んでいない。

みどりの現状

(6) 都市公園等の整備状況

- 区立の公園等が122箇所、緑道が10箇所、都立公園が2箇所整備されており、総面積は48.9ha、区民一人当たりの公園面積は1.7㎡。
- 現行計画の目標（一人当たり公園面積2.0㎡）の達成には、0.23㎡/人、公園面積で約6.99haの整備が必要。
- 現行計画策定の平成28年3月以降、公園3か所（約1,860㎡）を新たに整備。
- 令和6年度現在、新規公園6か所（約1,830㎡）、公園拡張1か所（約560㎡）、広場1か所（約50㎡）の整備事業が進行中。
- 公園等の利用実態や区民意向を踏まえた公園機能の適切な配置が必要。

表1 都市公園等の整備状況

公園等の種別	整備数（箇所）	面積（ha）	備考
区立公園	73	30.6	
区立緑道	10	4.5	延長8,976m
都立公園	2	11.4	公園面積の内目黒区内分
区立児童遊園	49	2.4	
合計	134	48.9	
（広場・遊び場等）	19	1.3	

9

みどりの現状

(6) 都市公園等の整備状況（公園機能の配置に関する検証例）

- 区民が最寄りの健康遊具のある公園へアクセスする場合、東部の三田一丁目、目黒一丁目や、南部の原町一丁目、洗足一丁目周辺は比較的アクセス距離が長くなっている。
- 今後、公園機能の再配置等を進める際に、このような機能面で不足区域を抽出し、再配置の検討への活用を図っていくことが重要。



図6 健康遊具のある公園までのアクセス距離

10

みどりの現状

(7) 緑化推進組織等の活動状況

- ・ グリーンクラブ活動団体は98団体であり、2014年度と比べて**6団体増加**。
- ・ 公園活動登録団体は20団体であり、2014年度と比べて**3団体増加**。

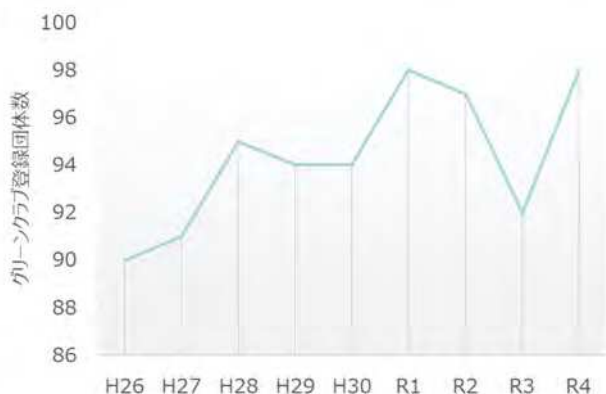


図7 グリーンクラブ登録団体数の推移

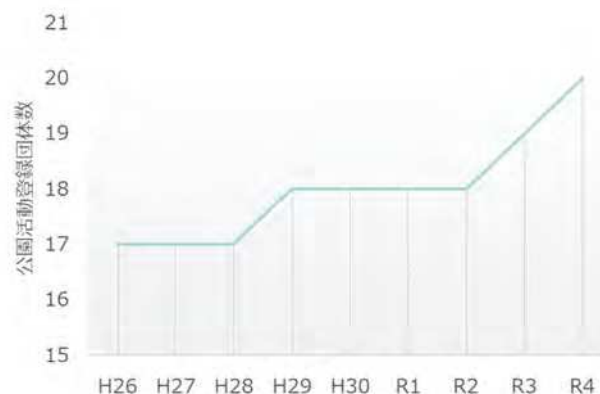


図8 公園活動登録団体数の推移

みどりの課題

- ・ 緑被率が横ばい～減少傾向であり、特に民有地における小規模な樹林地の消失が主な要因となっている。
- ・ 公園が不足する区域での整備を進めつつ、公園の機能面において不足区域がみられる地域については公園機能の再配置の検討を進める必要がある。
- ・ グリーンクラブ活動団体や公園活動登録団体は増加傾向にあり、区民との連携を推進するため、引き続き人材育成や各団体への支援を強化していく必要がある。

生物多様性の現状と課題

生物多様性の現状

(1) 生物多様性保全機能

- 多様な生物の生息が確認されている場所を「めぐりの森」と位置づけている。
- 「いきもの住民台帳」のデータによれば、多様な生物種（動物種）が確認された多くの地域では1ha以上の樹林地があり、さらに周辺の小規模な樹木地、街路樹、緑道を通じて移動することにより多様な生物の生息が維持されている可能性が示唆される。



図9 生物の生息環境域の形成

生物多様性の現状

(2) 生物多様性地域戦略の目標達成状況

- 野鳥の年間確認種数は50種前後を推移し、一部目標達成。
- タンポポ、ツバメ等（154種）の指標在来生物種の分布率は上昇傾向にあり、目標（50%）達成に向け推移。

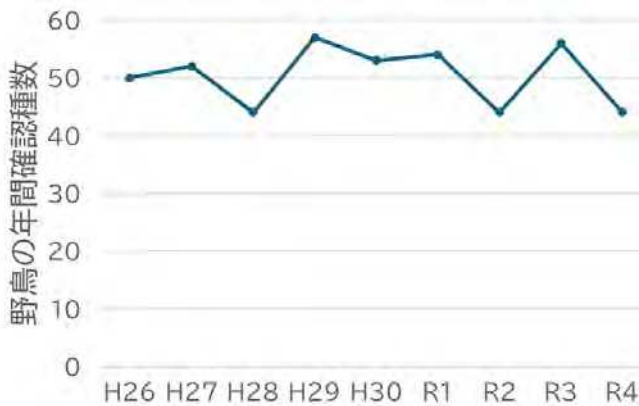


図10 野鳥の年間確認種数の推移



図11 指標在来生物種の分布率の推移

生物多様性の現状

(2) 生物多様性地域戦略の目標達成状況

- 生物多様性の言葉の認知度は減少傾向～横這い

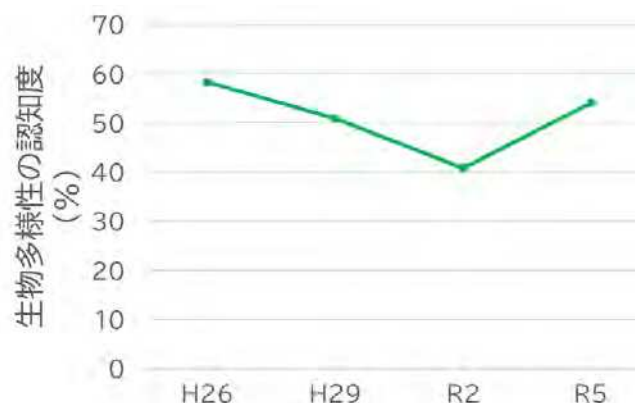


図12 生物多様性の認知度の推移

生物多様性の現状

(3) 令和6年度生物調査の概要

- ・ 東山公園、目黒天空庭園、中目黒公園、目黒川、林試の森公園（都立）、駒沢オリンピック公園（都立）を対象に現地調査を実施。
- ・ 駒場野公園、菅刈公園、碑文谷公園、中根公園を対象に現況評価を実施。
- ・ 調査項目、調査時期、調査方法等は下表に示すとおり。

表2 令和6年度生物調査の概要

調査項目		調査時期	調査方法
植物	植物相	春・夏・秋	・任意観察調査
	植生	秋	・植生（群落組成）調査 ・植生図作成
動物	哺乳・両生・爬虫類	早春・秋	・任意観察調査（目撃・フィールドサイン） ・自動撮影カメラ設置（3～4地点程度）
	鳥類	春・初夏・秋・冬	・任意観察調査
	昆虫類	春・夏・秋	・任意採集調査 ・バイトラップ調査（3～4地点程度）
	魚類	春・秋	・任意捕獲調査（たも網、セルピン等）
	底生動物	春・秋	・任意採集調査（たも網等）

生物多様性の現状

(4) 令和6年度生物調査の結果（一部）

生息条件評価

評価	樹林地	草地	植栽地	水辺地
6	6	7	6	7

草原とビオトープ池が良く管理されており、多様な生息環境が維持されている。樹林地も、規模は大きくないが、樹木が大きく、シジュウカラ、メジロ、ワカケホンセイインコ、オナガなどの繁殖が確認された。

草原



モンシロチョウの繁殖

池ビオトープ



一時採集されたトンボのヤゴ
4月17日、6月12日



マメグミバイナズナ(上)、モンシロチョウの産卵と産み付けられた卵(下) 5月24日



クロイトトンボ 5月24日

↑ 水生植物が豊かなビオトープ池。多数のトンボ類が繁殖している。6月11日

← 複数の草地があり、それぞれ生育種、利用頻度などが異なることから、生育種にも差が見られた。7月18日

モンシロチョウは、通常、ナノハナやキャベツなど、アブラナ科の野菜を利用して繁殖する。今回の調査で、4月～7月ごろまでは、外来種のマメグミバイナズナで積極的に利用していることが判明した。マメグミバイナズナで吸蜜(左)。5月24日

生物多様性の現状

(4) 令和6年度生物調査の結果 (一部)



19

生物多様性の課題

- 地域戦略の目標である野鳥の年間確認種数70種を目指し、引き続き生態系に配慮したみどりの保全・創出に係る取組を充実させていく必要がある。
- 多様な生物の生息が確認されている「めぐろの森」の保全管理を公民連携で進めるとともに、これらの生息環境の重要性を区民に広く普及し、外来生物の防除や野生生物とのかかわりなどリテラシーを高めることが求められる。
- 「めぐろの森」など重要な生息地の周辺地域においても、いきものの重要な移動経路となっている可能性を踏まえ、緑道や街路樹等の管理を継続するとともに、個人の庭や生け垣、プランター等の小さなみどりをつなげていくことが求められる。
- 区民の生物多様性の認知度は減少傾向～横ばいである一方で、都市部での消費活動が生物多様性の多大な恩恵を受けていることを踏まえ、エシカル消費^{注)}など生活の身近な問題として生物多様性に配慮した行動を促す取組の拡充が求められる。

注) エシカル消費とは、人や社会、環境に配慮した消費行動のこと

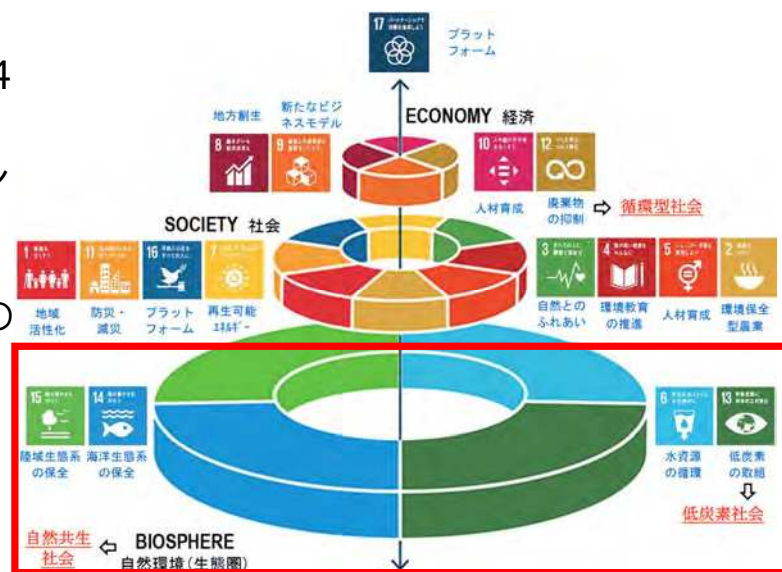
20

みどりと生物多様性に関する社会情勢の変化

国内外の動向

(1) SDGs達成に向けた取り組み

- みどりの基本計画は、特に目標6、13、14、15に関連している。
- 全17の目標の関係性を整理したウェディングケーキモデルでは、経済と社会を支える「環境」に関する目標である。
- みどりの基本計画は、都市の社会と経済の土台を支えるための計画の一つであると捉えることができる。



出典：森里川海からはじめる地域づくり 地域循環共生圏構築の手引き（環境省）

図13 SDGsのウェディングケーキモデル

国内外の動向

(2) ネイチャーポジティブの実現に向けた取り組み

- ネイチャーポジティブとは、「自然を回復軌道に乗せるため、生物多様性の損失を止め、反転させる」ことを指す。
- 2030年までにネイチャーポジティブを達成するため、一人ひとりのエシカルな消費・選択による、持続可能な経済社会づくりを推進していく必要がある。(昆明・モンリオール生物多様性枠組)
- 生物多様性増進活動促進法は、企業等の「増進活動実施計画」や、市町村が地域の多様な主体と連携して行う「連携増進活動実施計画」を主務大臣が認定し、都市緑地法等の手続きをワンストップ化・簡素化。



図14 ネイチャーポジティブのイメージ



出典：地域における生物の多様性の増進のための活動の促進等に関する法律について（環境省）

図15 生物多様性増進活動促進法のご概念

国内外の動向

(3) NbS（自然に根差した解決策）の推進

- NbS（Nature-based Solutions）は自然が有する機能を持続的に利用し、多様な社会的課題の解決につなげる考え方。
- NbSには、グリーンインフラや防災減災、生態系を活用した適応策などが含まれ、それらを統合する「傘」としての役割を果たす概念。
- 東京都は、2030年までを「NbSの定着期間」と捉え、各主体が生態系の機能を活用して都が抱える社会課題に対応し、人間の幸福と生物多様性の両方に貢献する事例を「Tokyo-NbSアクション」として発信。

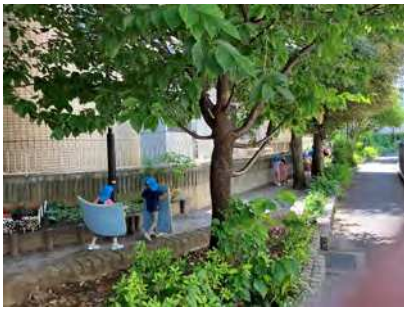


社会課題の例		Tokyo-NbS Action
IUCNの社会課題	東京都の課題	
①人間の健康	子供の福祉	子供の健やかな成長を社会全体でサポート
②気候変動	都民の健康・長寿	誰もが元気で心豊かに暮らせる地域の実現
③自然災害	コミュニティ形成	誰もが集い、支え合うコミュニティを至るところに形成
④社会と経済の発展	防災・減災・気候変動対策	地球温暖化に伴う豪雨や自然災害等の被害軽減
⑤食料安全保障	地域振興	東京全体の生産性、魅力向上
⑥水の安全保障	観光・文化振興	人々のウェルビーイング、東京のプレゼンス向上
⑦環境劣化と生物多様性の損失	農林水産業の成長	危機に強い産業構造への転換
	・緑や水辺を生かした空間の創出 ・自然地保全・管理	都市機能を高め、世界を魅了

図16 Tokyo-NbSアクションが対象とする東京都の課題

出典：東京都ホームページ

目黒区で芽吹くNbS



こどもの健やかな成長を支えるみどり



人々の文化活動を支えるみどり



コミュニティ形成とみどりのネットワーク



憩いの場と水域の創出



歴史文化とみどりの保全



農体験と草地・林縁環境の保全

25

東京グリーンビズ

100年先を見据え、取組の輪を拡大し、東京の緑を未来へ継承

「まもる」取組

- 農地を守る
- 樹林地（屋敷林等）を守る
- 豊かな自然（保全地域等）を守る
- 森林（水道水源林等）を守る

「活かす」取組

- 自然が有する機能を活用する
- 「グリーンインフラ」の導入
- 公園の魅力を高めTOKYOの顔に
- 豊かな自然を活用・発信
- 水辺に親しむ空間づくり
- 多摩産材の活用
- 緑の多様な価値を活かす



「育てる」取組

- 公園の整備
- 街路樹の充実（安全性や快適性の確保）
- 緑と水のネットワーク化
- まちのシンボルとなる緑豊かな空間の創出
- まちづくりに合わせた、まちなかの緑の創出
- 東京グリーンビズ・ムーブメントの推進

区民や企業等の様々な主体と連携・協力し、みどりの機能を最大限に活用することでいつまでも住み続けたいくなる心地よい目黒区へ・・・

26

図17 東京グリーンビズの取組

出典：東京都の緑の取組 Ver.3（東京都）

現状と課題のまとめ

目黒区のみどり、生物多様性の課題

民有地のみどり

- ・緑被率は横ばい～減少傾向
- ・比較的小規模な樹林が減少

公有地のみどり

- ・公園整備の不足、機能の適切な再配置
- ・ボランティア活動等の区民参画のさらなる推進

- ・野鳥の年間確認種数70種の達成に向けた生態系配慮（めぐろの森の保全、エコロジカルネットワークの形成）
- ・生物多様性認知度の向上（身近な生活の中での気づき、配慮行動の促進）

みどり、生物多様性のチカラで様々な社会課題の解決を図るアプローチにより、分野横断的に取組を推進

公民連携で
NbSを推進

社会情勢の変化へ対応

SDGsへの貢献

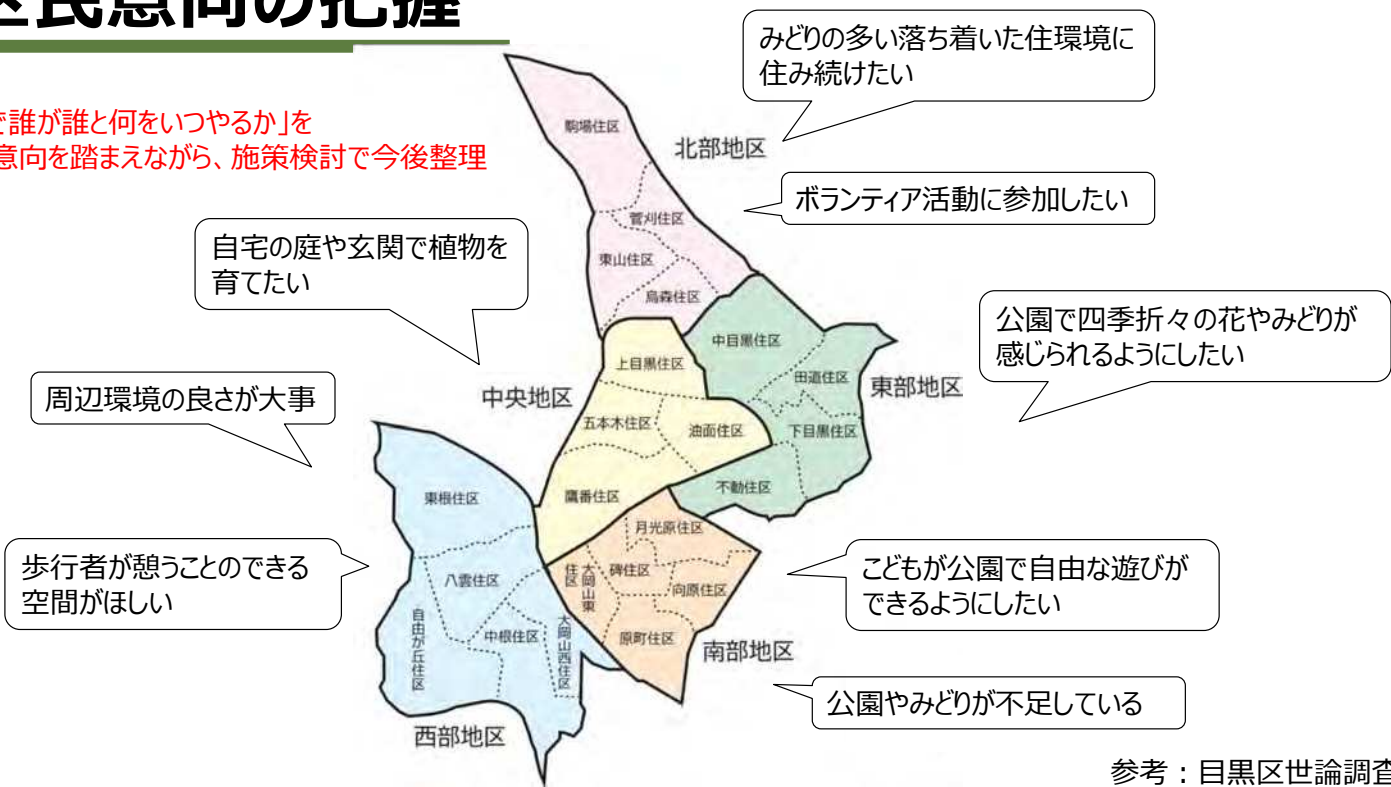
ネイチャーポジティブの達成

【将来像】
さくら咲き 心地よいまち ずっと めぐる の実現

その他の調査 (区民意向の把握)

区民意向の把握

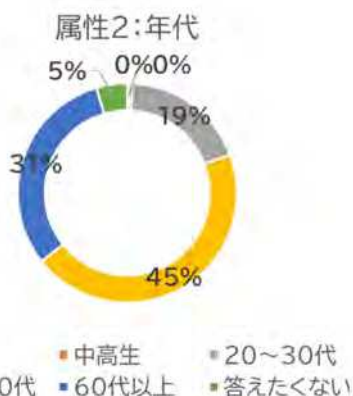
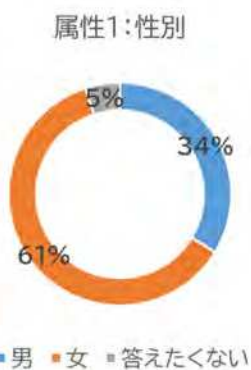
「どこで誰が誰と何をいつやるか」を
区民意向を踏まえながら、施策検討で今後整理



公園利用に関する住民意向アンケート結果

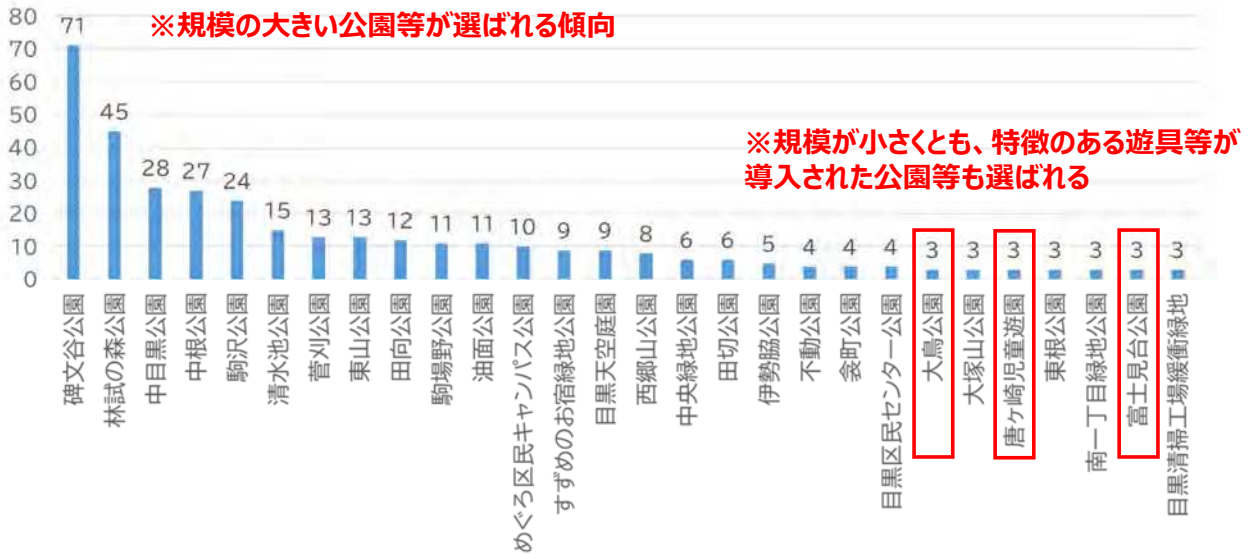
(1) 住民意向アンケート実施概要

- 実施方法：Web アンケート（Microsoft Forms）
- 実施時期：令和6年11月13日～（回収中）
- サンプル数：398（本速報）



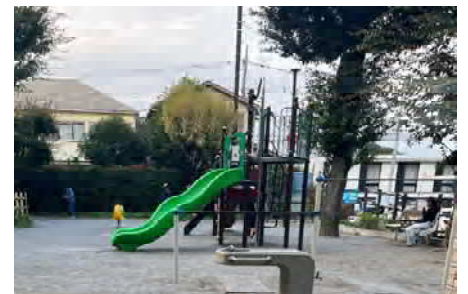
公園利用に関する住民意向アンケート結果

(2) 普段利用する公園、または親しみを感じる公園（3件以上）



公園利用に関する住民意向アンケート結果

(2) 普段利用する公園、または親しみを感じる公園（3件以上）



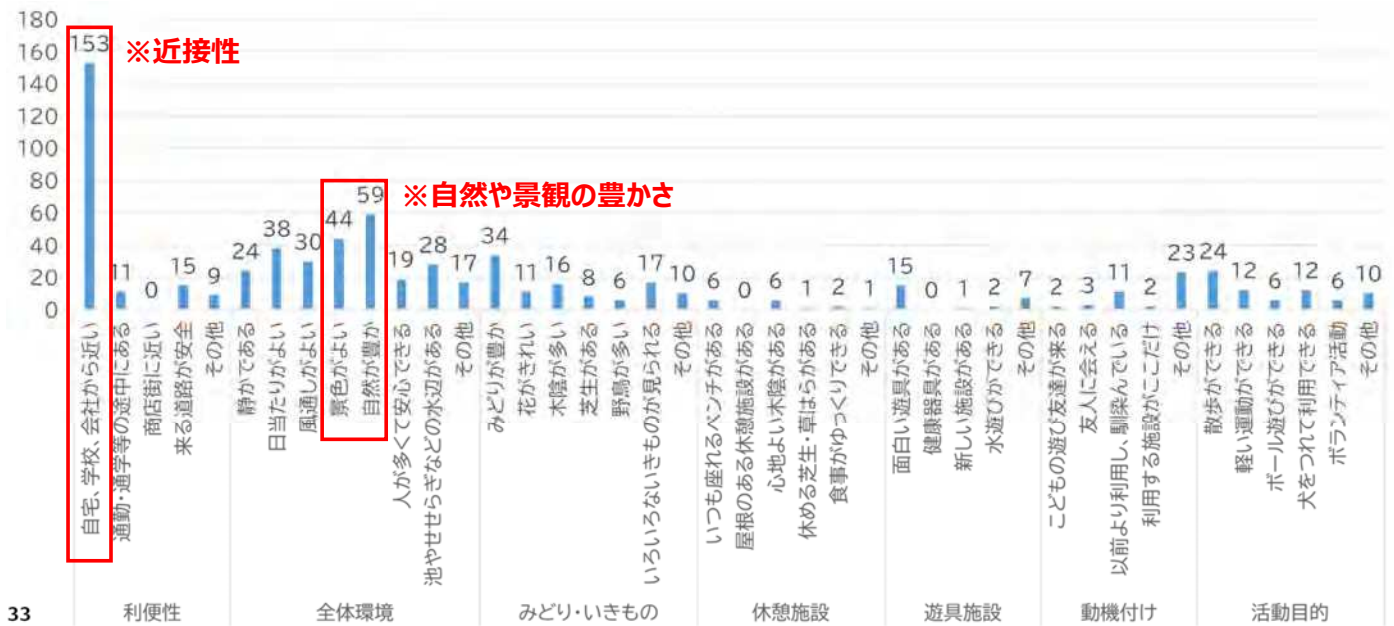
大鳥公園

唐ヶ崎児童遊園

富士見台公園

公園利用に関する住民意向アンケート結果

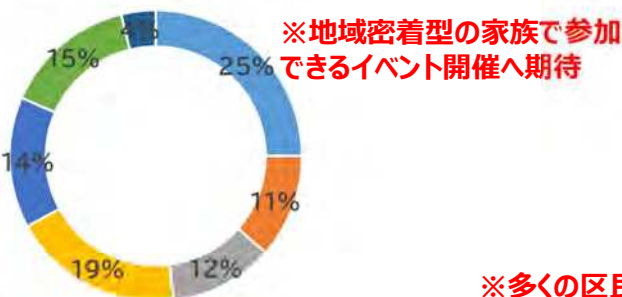
(3) 普段利用する公園、または親しみを感じる公園を選んだ理由



公園利用に関する住民意向アンケート結果

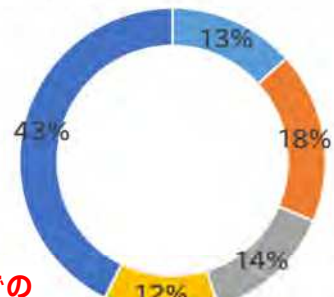
(4) 公園での活動について

公園でのイベントについて



- 家族で参加できるものが良い
- 高齢者も参加しやすいものが良い
- 子どもだけで参加できるものが良い
- 地域の行事を出来るようにしてほしい
- 地域の商店や企業がイベントの場として活用できるようにしてほしい
- 静かな環境がいいのでイベントはらない
- その他

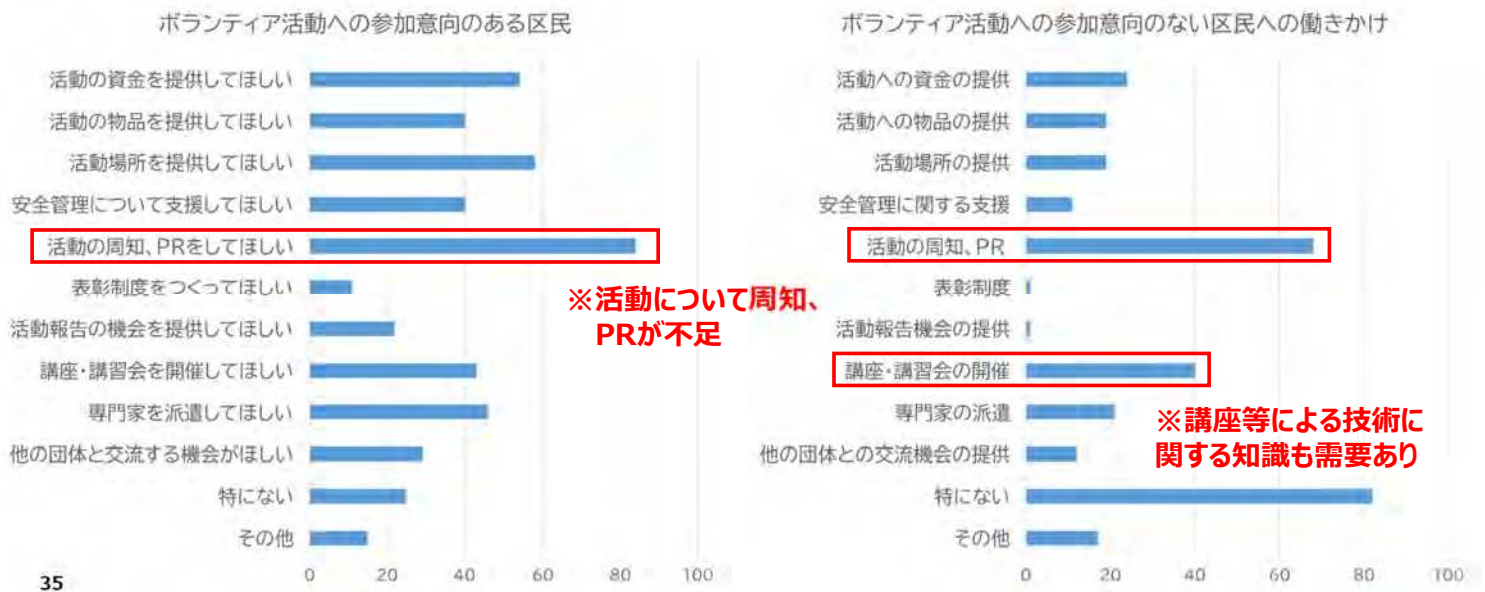
公園で行う活動への参加意向



- 公園で行う自然観察会などの手伝いに参加したい
- 清掃や花壇、樹木などの世話に参加したい
- その他の公園でのボランティアや活動グループへ参加したい
- 参加しない
- 考えたことがない

公園利用に関する住民意向アンケート結果

(5) 公園でのボランティア活動への参加について



公園利用に関する住民意向アンケート結果

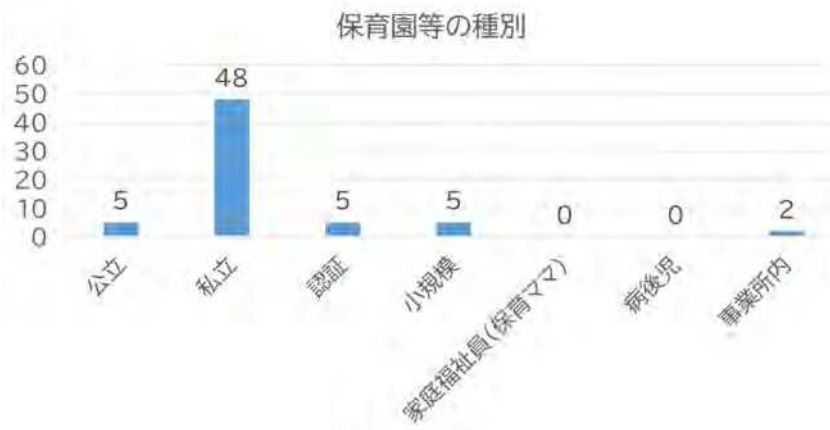
(6) 利用したい、つくりたい、つくってほしい公園



保育所等の公園利用に関するアンケート結果

(1) 保育所等の公園利用に関するアンケート実施概要

- 実施方法：Web アンケート（Microsoft Forms）
- 実施時期：令和6年11月20日～（回収中）
- サンプル数：65（本速報）

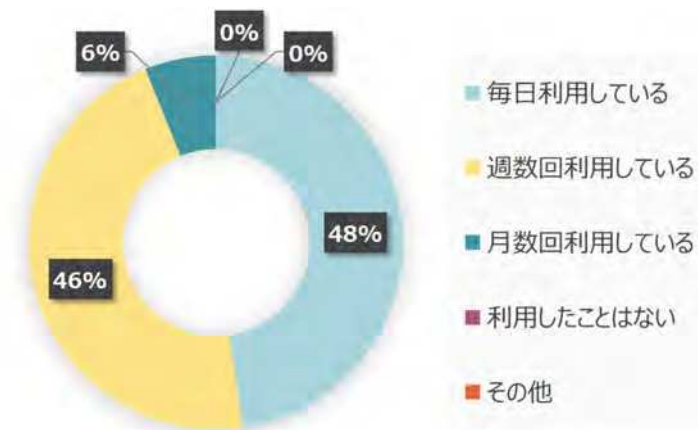


37

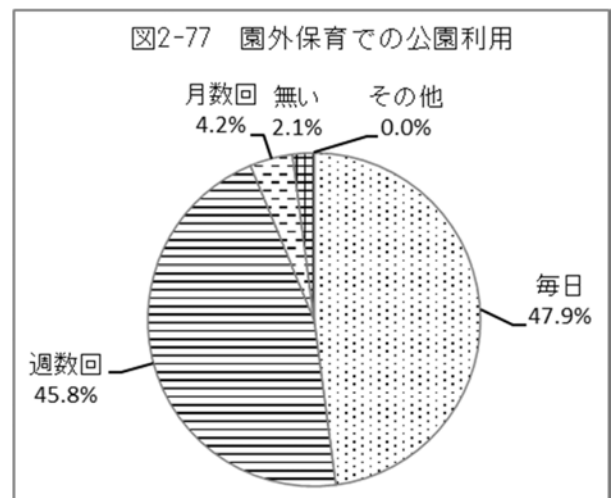
保育所等の公園利用に関するアンケート結果

(2) 園外活動で、どのくらい公園を利用しますか？（いずれか一つ）

- 過年度と同様の傾向



H26



38

保育所等の公園利用に関するアンケート結果

(3) 利用頻度の高い公園の具体的な名称を教えてください。

※赤枠は、過年度調査における「主に利用する公園」



保育所等の公園利用に関するアンケート結果

(3) 利用頻度の高い公園の具体的な名称を教えてください。

※赤枠は、過年度調査における「主に利用する公園」



保育所等の公園利用に関するアンケート結果

(4) 公園の施設・管理などに関する意見

ハード面	ソフト面
広場、芝生の整備 (6)	衛生管理、清掃の推進 (7)
ボール遊び、木登り、泥んこ遊びなど多様な遊びができる公園の整備 (9)	植栽や遊具等の公園設備の管理 (2)
身体の発達を促す遊具の導入 (3)	パトロール巡回 (2)
幼児・乳児向け遊具の導入 (12)	他の保育所等の公園利用に関する情報共有の仕組み (同時利用の回避) (5)
自然体験のできる公園の整備 (8)	地域の理解促進、公園利用のマナー順守 (9)
虫刺され防止、囲い、芝生やラバー等、安全に利用できる公園の整備 (12)	
トイレ、東屋、シャワー等の設備 (8)	
広い公園 (1)	

みどり・いきものワークショップ

(1) 概要

- 「みどりのチカラで人もいきものもいきいき元気に暮らせるまちづくり」をテーマに、「みどりのチカラ」をどのようにまちづくりへ活かしていくか、アイデアや課題について、区民自身が考え意見を述べる機会を設定
- 平日・休日に各1回、同じ内容で実施
- 参加者の出席状況…
 - 1/19(日) : 計11名
 - 1/27(月) : 計16名



みどり・いきものワークショップ

(2) 意見・アイデアの概要

テーマ	主な意見・アイデア
みどり× 自然・いきもの	<ul style="list-style-type: none">・みどりの情報をもっと気軽に発信したり、みんなと共有できるようにしたい！・みんなでワイワイ楽しみながら、色々な場所で花が咲き彩るまちをつくりたい！・色々ないきものが生息し、ふれあえる環境があると良い！・宅地のみどりを守るための企画や支援がほしい！・道路沿いや駅前、水辺、屋上などみどりを増やしてエコロジカルネットワークをつなげたい！
みどり× 子育て・あそび	<ul style="list-style-type: none">・大人も子どももみどりを楽しみ、学ぶイベントを充実させたい！・学校やボランティアと協力し、学び合う機会を充実させてほしい！・森の幼稚園のように、みどりをもっと幼児教育に活用してほしい！・忙しい子どもでも学校のみどりで自然を体験し、学ぶことができる環境があると良い！・プレーパークのように、子どもが自由に自然とふれあえる場所が大事！

43

みどり・いきものワークショップ

(2) 意見・アイデアの概要

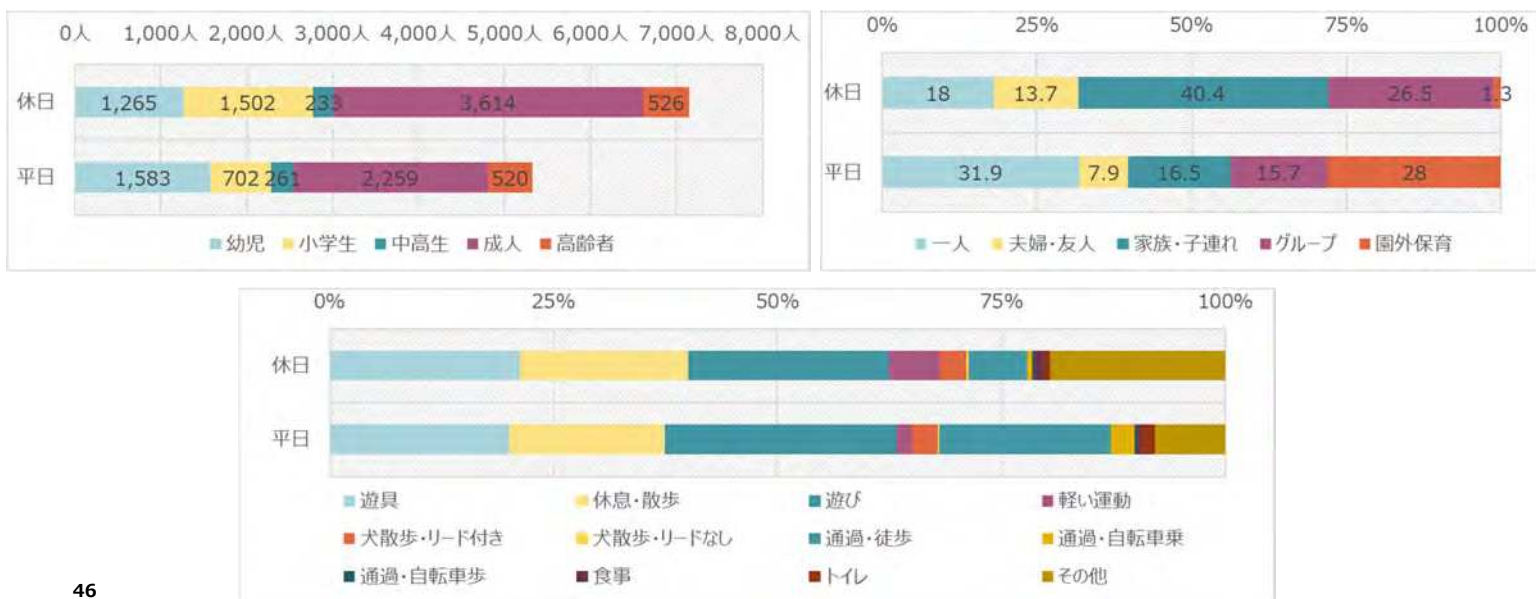
テーマ	主な意見・アイデア
みどり× 健康づくり	<ul style="list-style-type: none">・みどりでイベントを楽しみながら健康づくりができると良い！・広場や築山など伸び伸び身体を動かしたりリラックスできる場所がほしい！・五感で自然を楽しめるよう散歩道の整備や仕掛けづくりを進めてほしい！
みどり× 気候変動・ 防災	<ul style="list-style-type: none">・防災に役立つみどりのチカラをもっと多くの人に知ってもらおうと良い！・防災に役立つみどりの保全と創出を進めるべき！・多様な主体と連携し、気軽に楽しみながら公園等で防災活動を行えるといい！・水循環を支えるみどりづくりや公園整備を進めてほしい！
みどり× にぎわいづくり	<ul style="list-style-type: none">・目黒のみどりの魅力やイベント情報をわかりやすく発信してほしい！・区の公式SNSなどと連携し手軽に情報発信したい！・みどりを舞台に、大人から子供まで楽しめるイベントを味わいたい！・農地保全と地産地消で農地をもっと身近に感じることできたら良い！

44

その他の調査 (公園等利用実態調査)

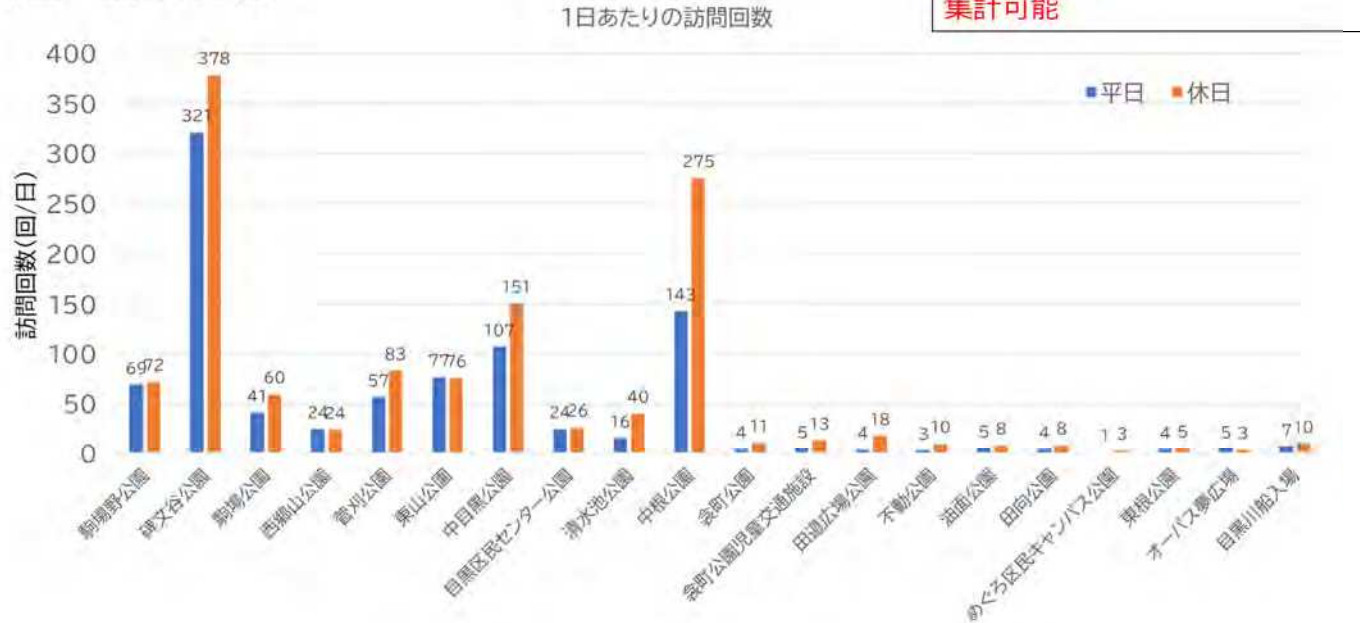
公園等利用実態調査 (R6現地調査)

(1) 利用人数調査 (R6現地調査 (時間断面))



公園等利用実態調査（人流データ）

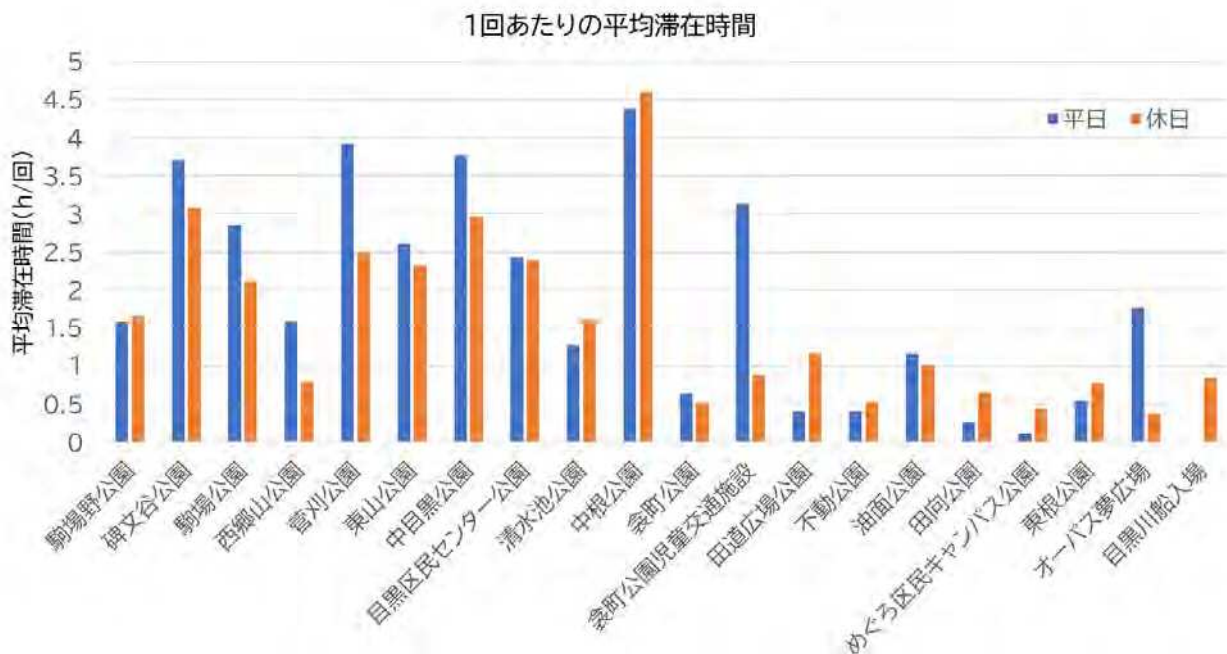
(1) 訪問回数



47

公園等利用実態調査（人流データ）

(2) 1日あたりの平均滞在時間



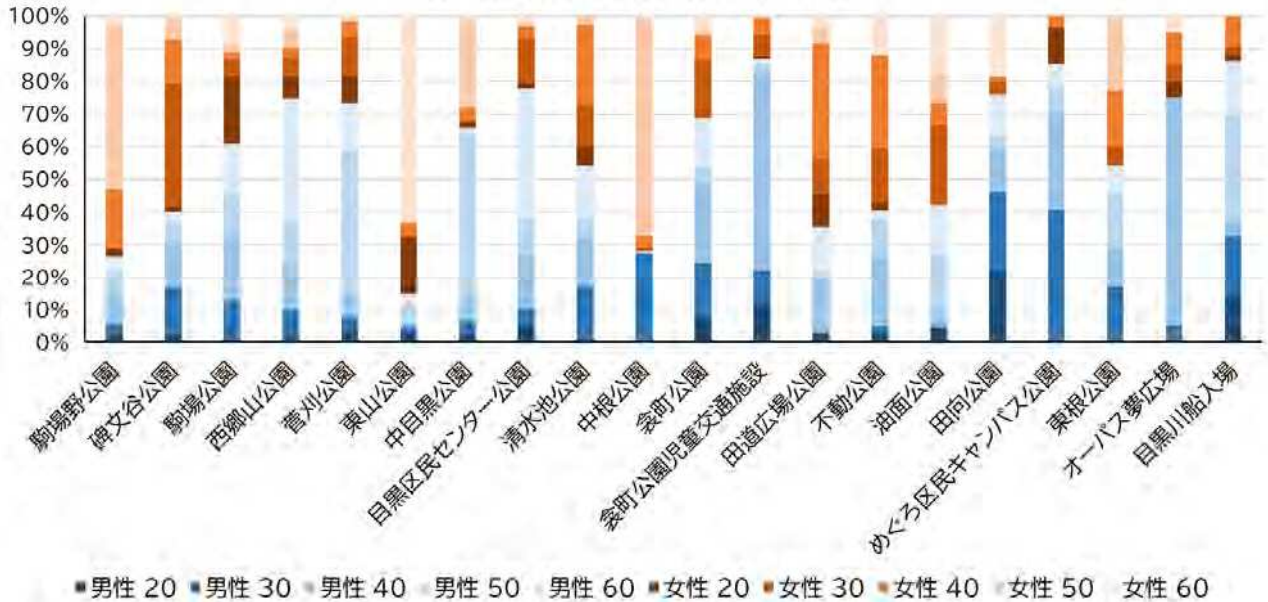
48

人流データ分析結果（個別公園）

(1) 性年代別の利用者割合（休日）

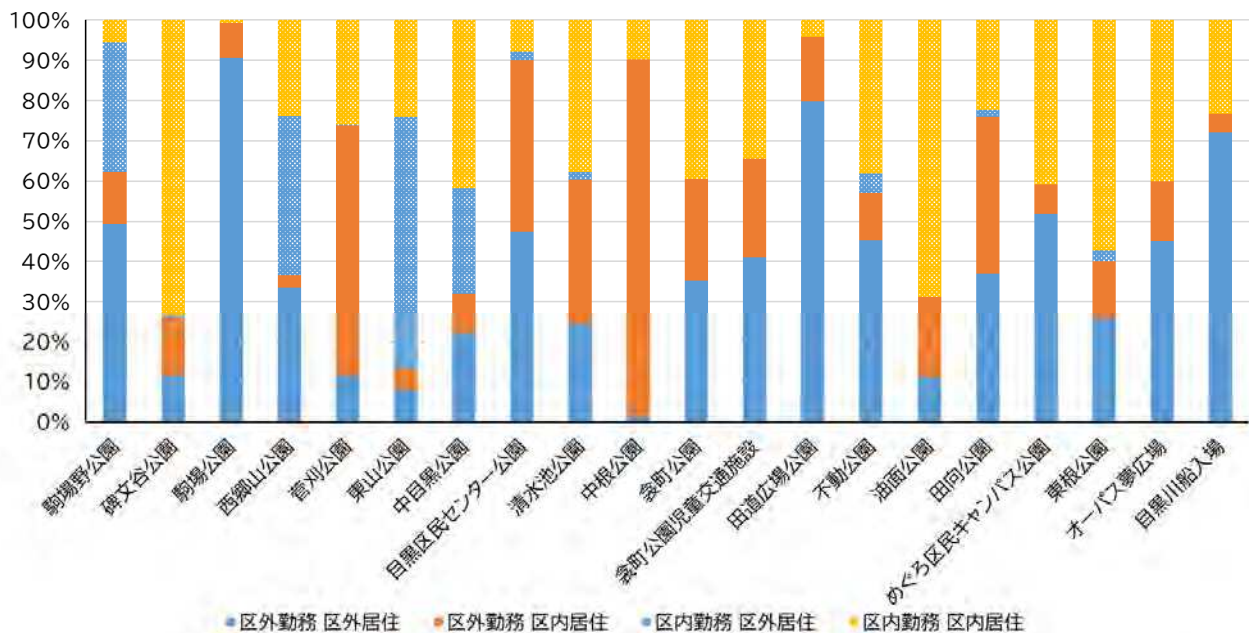
その他、公園利用者の推定居住地、推定勤務地の集計も可能

1日に訪問する年代、性別の割合(休日)



人流データ分析結果（個別公園）

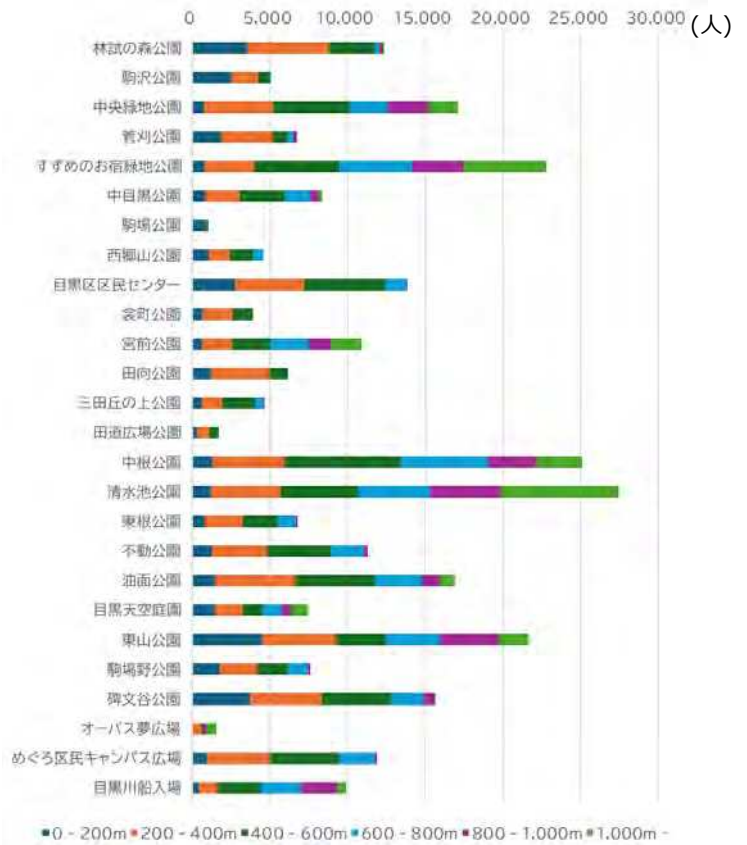
(2) 居住地・勤務地別の利用者割合（休日）



PASの分析結果

(1) 2500m²以上公園へのアクセス

51



PASの分析結果

(2) 公園機能別アクセス距離

52

休息場のある公園



スポーツ施設のある公園

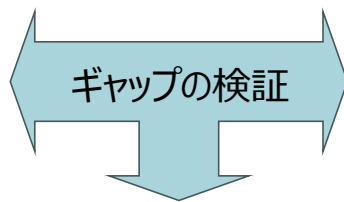


遊具のある公園



公園等利用実態調査結果の活用

公園利用実態調査
・R6 現地調査
・人流データ分析結果



公園利用ポテンシャル調査
・人口データに基づく公園
利用者数のポテンシャル

ギャップ検証により公園整備、管理、活用の
課題等について整理

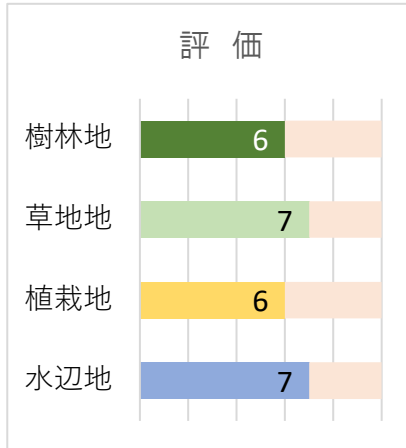
<分析対象の例>

- ・ 中目黒公園は、周辺住民のアクセス人口は比較的少ない中でも、区内外居住者の利用が多く模範的な優良事例となっている可能性がある
- ・ 東山公園は、周辺住民のアクセス人口が区内有数であるにもかかわらず、区外居住者の利用が多く、周辺住民のニーズに対応できていない可能性がある。

53

その他の調査 (生物調査)

生息条件評価



草原とビオトープ池が良く管理されており、多様な生息環境が維持されている。樹林地も、規模は大きくないが、樹木が大きく、シジュウカラ、メジロ、ワカケホンセイインコ、オナガなどの繁殖が確認された。



↑ 水生植物が豊かなビオトープ池。多数のトンボ類が繁殖している。6月11日



← 複数の草地があり、それぞれ生育種、利用頻度などが異なることから、生育種にも差が見られた。7月18日

主な確認種

樹林、草地、水辺、植栽地と様々な環境地が立地している。ビオトープ池は、水生植物が多く、繁殖するトンボ類が多い。

分類	主な確認種
夏期繁殖鳥類	・メジロ・コゲラ・エナガ・ヒヨドリ・ムクドリ・オナガ・ワカケホンセイインコ・シジュウカラワ ・ハクセキレイ ・スズメ・ドバト・アオサギ・ハシブトガラス・(ツグミ) 計14種
冬期越冬鳥類	・メジロ・シジュウカラ・キジバト・ヒヨドリ・ハシボソガラス・ハクセキレイ・ドバト・ムクドリ・ウグイス ・ワカケホンセイインコ・ツグミ 計11種
昆虫 チョウ類	・ナミアゲハ・アオスジアゲハ・モンシロチョウ・キタキチョウ・ツマキチョウ・ヤマトシジミ・ツバメシジミ ・ベニシジミ・コムスジ・ゴマダラチョウ・ムラサキシジミ・ツマグロヒョウモン・アカボシゴマダラ・コムスジ・ヒメジャノメ 計15種
昆虫 トンボ類	・オオシオカラトンボ・シオカラトンボ・アキアカネ・ギンヤンマ・クロスジギンヤンマ・クロイトトンボ ・ギンヤンマ・クロスジギンヤンマ 計8種
昆虫 甲虫類	・ナミテントウ・ナナホシテントウ・コアオハナムグリ・ヨツモンカメノコハムシ・カシワツツハムシ・イモサルハムシ・カナブン 等
昆虫 その他	・セイヨウミツバチ・クマバチ・ハラナガツチバチ・コモンツチバチ・ヒメスズメバチ・オオメアブ ・オオハナアブ・アシトハナアブ・ホシササキリ・ショウリョウバッタ・ニイニイゼミ ・ショウリョウバッタ・クビキリギス 等
両棲類 爬虫類 魚類 他	・ニホンアカガエル・ヒキガエル ・モツゴ・コイ・メダカ ・ヌマエビ・アメリカザリガニ

Feild Note
観察記録

池 ビオトープ

一時採捕されたトンボのヤゴ
4月17日、6月12日



シオカラトンボ



オオシオカラトンボ



クロイトトンボ



卵を付けたメダカ 4月17日



クロイトトンボ成虫 5月24日

草原

モンシロチョウ
の繁殖

植栽樹

ワカケホンセイインコ
の繁殖



マメグンバイナズナ(上)。モンシロチョウの産卵と産み付けられた卵(下) 5月24日



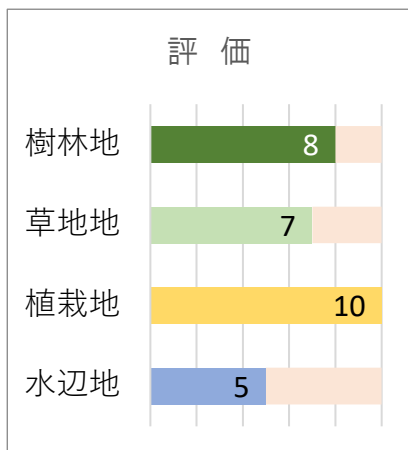
ワカケホンセイインコ親鳥と巣から顔を出した雛。 5月24日

モンシロチョウは、通常ナノハナやキャベツなど、アブラナ科の野菜を利用して繁殖。今回の調査で、4~7月頃までは、外来種のマメグンバイナズナを積極的に利用していることが判明。

マメグンバイナズナで吸蜜→
5月25日



生息条件評価



今回調査をした公園の中で、花壇・植栽地の評価が最も高かった。手入れの行き届いた花壇と、クズ、ヤブ、バランス良く立地し、多様な生息条件を作り出している。



← 花壇・植栽地
たくさんの花が咲く管理された植栽花壇とオギなどが生育する粗放管理地(左)。
7月18日



↑ 草地：草丈の異なる植物が生育し生物多様性を高めている。6月11日



↑ ビオトープ池:水生植物がほとんど見られない。4月11日

主な確認種

採餌のため、花壇や粗放管理の草藪などを訪れる種は多いが、樹林性種は少なく、繁殖地として利用する種も多くはない。

分類	主な確認種
夏期繁殖鳥類	・メジロ・エナガ・ヒヨドリ・ムクドリ・シジュウカラ・キジバト・カワラヒワ・ハクセキレイ・スズメ・ドバト・アオサギ・ハシブトガラス・ハシボソガラス・(ツグミ) 計14種
冬期越冬鳥類	メジロ・ヒヨドリ・スズメ・ドバト・ハクセキレイ・シジュウカラ・ハシボソガラス・モズ・ジョウビタキ 計9種
昆虫 チョウ類	・ナミアゲハ・アオスジアゲハ・クロアゲハ・モンシロチョウ・スジグロシロチョウ・キタキチョウ・ヤマトシジミ・ツバメシジミ・ウラナミシジミ・コムシジ・ゴマダラチョウ・キタテハ・ツマグロヒョウモン等 計21種
昆虫 トンボ類	・オオシオカラトンボ・ウスバキトンボ・シオカラトンボ 計3種
昆虫 甲虫類	・クズクビソハムシ・コフキゾウムシ・シロテンハナムグリ・キボシツツハムシ・カナブン・コクワガタ・イモサルハムシ・スグリゾウムシ・リュウキュウツヤハナムグリ・カブトムシ・ナミテントウ等
昆虫 その他	・オオスカシバ・オオカマキリ・アカスジカメムシ・ニイニイゼミ・ミンミンゼミ・アブラゼミ・ウスイロササキリ・ホシホウジャク・ヤブキリ・オンブバッタ・ショウリョウバッタ・オオスズメバチ・クマバチ等
両棲類 魚類	爬虫類 他 ・ヒキガエル・ヒバカリ・ニホントカゲ ・モツゴ・タイリクバラタナゴ・メダカ ・ヌマエビ・アメリカザリガニ

Feild Note
観察記録

花 壇



オオスカシバ 6月12日



クマバチ 5月24日

樹 液

今年、ナラノガキクイムシ (ナラ枯れ)の影響で、樹液が
が多数確認された。7月18日



幹一周で、シロテンハナムグリ108匹。カナブン23匹。リュウキュウツヤハナムグリ7匹。カブトムシ1匹。7月18日

- リュウキュウツヤハナムグリ
- カナブン
- シロテンハナムグリ



池 ビオトープ



アメリカザリガニ(条件付き特定外来種)がかなりの数を占めた。4月17日



タイリクバラタナゴ 4月17日



池畔で発見されたヒバカリ 4月17日



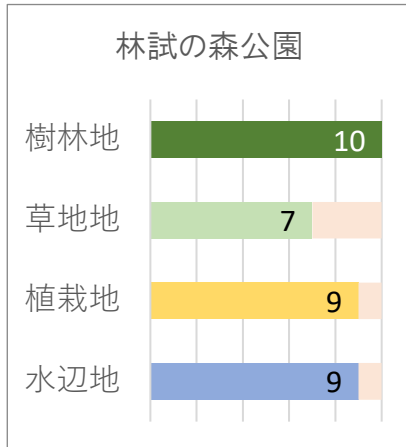
モツゴ 4月17日



ヒキガエル幼生 4月17日

春先、ヒバカリは、カエル類の幼生をよく捕食する。

生息条件評価



区内で最も優れた自然地と思われる。特に樹林環境は、天然林、植栽林ともに熟度の高く、多くの樹林性種が生息している。半面、陽の当たる草地は少なく、ユーカリガーデンは貴重な存在。



← 樹林地:林床植物が豊富で、人の立ち入りが少ない。多くの生物の生息地となっている。

7月23日



草地環境(ユーカリガーデン) 陽地性の草本が多数生育。 7月23日



水場環境:二つの池とそれをつなぐ流路で構成される。 2020年10月(参考写真)

主な確認種

樹林性のヒカゲチョウ類、コガネムシ類などが多く確認された。水場は、アカミミガメ、カダヤシなどの外来種が多数入り込んでいる。

分類	主な確認種
夏期繁殖鳥類	・メジロ・コゲラ・エナガ・ヒヨドリ・ムクド・オナガ・ワカケホンセイインコ・シジュウカラ・キジバト・カワラヒワ・ハクセキレイ・スズメ・ドバト・アオサギ・カルガモ・ツバメ・ハシブトガラス・ハシボソガラス 計18種 ・キビタキ(繁殖はしていない)
冬期越冬鳥類	シジュウカラ・エナガ・ワカケホンセイインコ・ヒヨドリ・ハシブトガラス・ウグイス・キジバト・シロハラ・コゲラ・ドバト・ハクセキレイ・ハシボソガラス 計12種
昆虫 チョウ類	・ナミアゲハ・アオスジアゲハ・キアゲハ・クロアゲハ・モンシロチョウ・キタキチョウ・ツマキチョウ・ヤマトシジミ・ツバメシジミ・コムシジ・ゴマダラチョウ・アカボシゴマダラ・ツマグロヒョウモン・サトキマダラヒカゲ・ナミヒカゲ他 計23種
昆虫 トンボ類	・オオシオカラトンボ・ウスバキトンボ・シオカラトンボ・ショウジョウトンボ・コノシメトンボ・アジアイトトンボ・クロスジギンヤンマ 計7種
昆虫 甲虫類	・カブトムシ・カナブン・シロテンハナムグリ・リュウキュウツヤハナムグリ・タマムシ・クズチビタマムシ・ノコギリクワガタ・マメコガネ・アオオサムシ・クズクビボソハムシ・ズグロキハムシ・キボシツツハムシ・ナミテントウ・ヨツスジトラカミキリ等
昆虫 その他	・ニイニイゼミ・ミンミンゼミ・アブラゼミ・クマゼミ・ツクツクボウシ・アオイラガ・オオスカシバ・ヒメクチバスズメ・シモフリスズメ・ヤブキリ・オンブバッタ・ショウリョウバッタ・サトクダマキモドキ・コガタスズメバチ・クマバチ・ハチモドキハナアブ・アシブトハナアブ等
両棲類 爬虫類 魚類 他	・ニホンカナヘビ・ニホントカゲ・アカミミガメ・クサガメ・イシガメ・スッポン ・モツゴ・メダカ・カダヤシ・コイ・ヒキガエル・ウシガエル ・ヌマエビ・アメリカザリガニ 計14種

Field Note
観察記録

樹林内

樹液にやってきた、ゴマダラチョウ(右)とアカボシゴマダラ(左)。スズメバチ、カナブンなども来ている。 6月26日→



樹林性のヒカゲチョウ類



ナミヒカゲ 5月29日



サトキマダラヒカゲ 6月11日



ヒメジャノメ 5月29日

ユーカリ
ガーデン

多くの草原、林縁性昆虫が繁殖している。



エノキの実生木で繁殖するアカボシゴマダラ 7月23日



クズで繁殖するクズクビボソハムシ 7月23日



ウマノスズクサで繁殖するジャコウアゲハ 7月23日



池 カメ



甲羅干しをするアカミミガメ 5月8日

水面から顔を出した
スッポン 4月16日

→

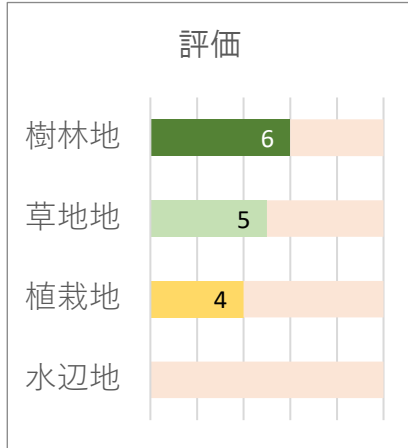


↑イシガメ
5月8日

クサガメ→
5月8日



生息条件評価



基本的に公園内はほとんどが人工的に植栽された緑被地である。樹林地は、大きく生育した樹木が上層を覆い、明るく見通しの効く樹林が多い。対象エリア内に、水場環境はない。



明るい植栽林
植栽間隔が広く林床が明るい
ため、人の立ち入りが少ない
林床は、下層植生が豊富。
6月6日



↑ 細長い樹林地 6月6日
幅は狭いが園路に沿って続く



↓ 植栽内に残る踏み跡 6月6日

主な確認種

大きな樹木が多いが、地表部は植込みと、手入れされた林床が多く、小型の昆虫類は少ない。水辺環境は存在しない。

分類	主な確認種
夏期繁殖鳥類	・メジロ・ヒヨドリ・ムクドリ・シジュウカラ・キジバト・オナガ・ハクセキレイ・スズメ・ドバト・ハシブトガラス 計10種
冬期越冬鳥類	・ヒヨドリ・メジロ・キジバト・シジュウカラ・スズメ・ウグイス・ワカケホンセイインコ・オナガ・ハシボソガラス・ジョウビタキ 計10種
昆虫 チョウ類	・ナミアゲハ・アオスジアゲハ・クロアゲハ・モンキアゲハ・モンシロチョウ・キタキチョウ・ヤマトシジミ・ツバメシジミ・ベニシジミ・ウラギンシジミ・アカボシゴマダラ・コムスジ・ツマグロヒョウモン・サトキマダラヒカゲ・ヒメジャノメ・イチモンジセセリ・チャバネセセリ 計17種
昆虫 トンボ類	・オオシオカラトンボ・シオカラトンボ・ウスバキトンボ等
昆虫 甲虫類	・コフキゾウムシ・クズクビボソハムシ・コアオハナムグリ・ナナホシテントウ・ナミテントウ・ヨツモンジンガサハムシ・アオドウガネ・コフキコガネ等
昆虫 その他	・キマダラカメムシ・ホシホウジャク・オオスカシバ・クマバチ・アシブトハナアブ・ニイニイゼミ・アブラゼミ・ミンミンゼミ・クマゼミ・ショウリョウバッタ・コカマキリ・ナナフシモドキ等
両棲類 爬虫類 魚類 他	ニホントカゲ

Field Note 観察記録

植栽地

植栽された低木の上を、ヤブガラシ、ミツバアケビ、ヒルガオ、ヘクソカズラなどの蔓植物が覆い、適度な多様性空間を形成している。



ヨツモンジンガサハムシ(左)と、食草であるヒルガオ。



樹林

樹林といっても、下草が良く整備(管理)されているため、比較的明るく、林縁的な場所が多い。



エノキのひこばえにいたナナフシモドキ。

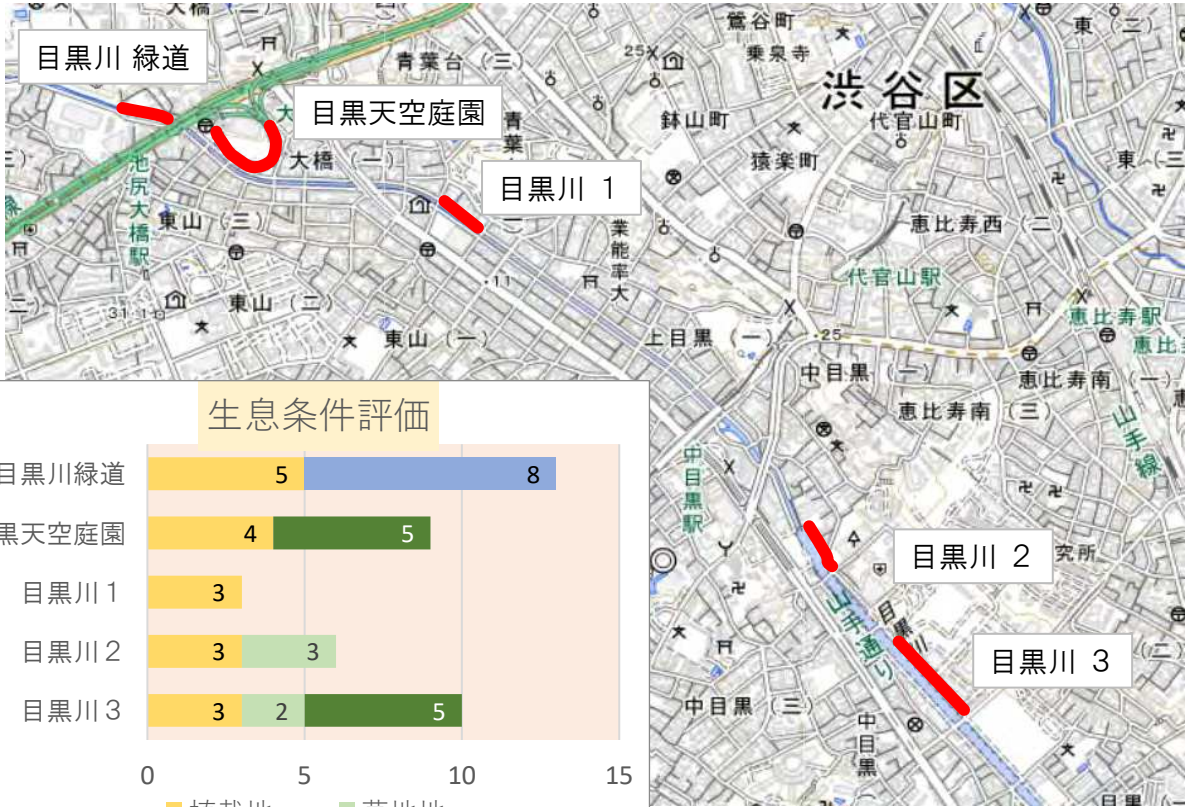
注:通常言われるナナフシの標準和名はナナフシモドキ。このほかよく似たエダナナフシなどがいる。



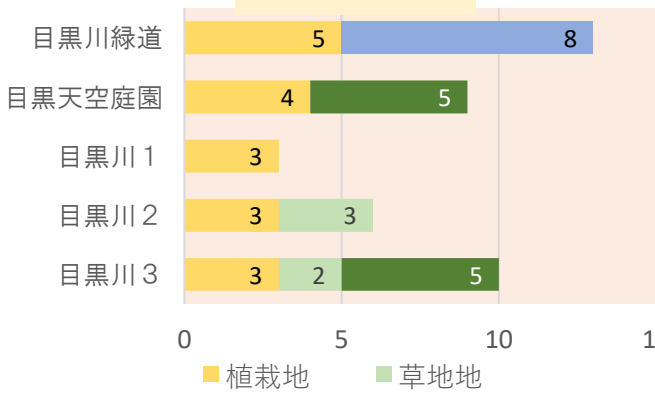
左:木の幹で休息するサトキマダラヒカゲ(上)と、食草のアズマネザサが生育する植栽地。

右:マテバジイのひこばえに潜むハラビロカマキリの幼虫。





生息条件評価



主な確認種

目黒川緑道は、流水部とその周辺の植栽地
目黒川1～3は、流水部を含まない。すべて河岸の植栽地。

地点	目黒川緑道	目黒天空庭園
分類		
夏期繁殖鳥類	・ヒヨドリ・ハクセキレイ・スズメ	・メジロ・ヒヨドリ・スズメ・キジバト・ドバト
冬期越冬鳥類	・ヒヨドリ・メジロ	・ヒヨドリ・メジロ・ドバト・ツグミ・ジョウビタキ
昆虫 チョウ類	・ヤマトシジミ・モンシロチョウ・ナミアゲハ ・アオスジアゲハ・ホシミスジ	・ナミアゲハ・モンシロチョウ
昆虫 トンボ類	・シオカラトンボ・オオシオカラトンボ	・シオカラトンボ・ウスバキトンボ
昆虫 甲虫類	・ナミテントウ	・サンゴジュハムシ・アオバネサルハムシ ・シロテンハナムグリ
昆虫 その他	・キアシナガバチ・クマバチ・ヒメハラナガツチバリ	・ヨコズナサシガメ

Feild Note
観察記録



植栽されたビオラと、吸蜜するモンシロチョウ 5月29日 目黒川緑道



花壇の土中で産卵をするシロテンハナムグリ。 7月18日 目黒天空庭園



ヒャクニチソウで吸蜜するイチモンジセセリ。 7月18日 目黒川1



上:クズクビボソハムシと食害されたクズ 7月18日 目黒川3

下:サンゴジュハムシに食害されたハクサンボクの葉と、サンゴジュハムシの幼虫 4月4日 目黒天空庭園

目黒川 1	目黒川 2	目黒川 3
・スズメ・エナガ・ハクセキレイ	・メジロ・シジュウカラ・ヒヨドリ・スズメ・エナガ・ハシブトガラス	・ヒヨドリ・メジロ・スズメ・コゲラ
	・メジロ・ヒヨドリ・ドバト	・ヒヨドリ・メジロ・シジュウカラ
・ヤマトシジミ・イチモンジセセリ	・ナミアゲハ・アオスジアゲハ・イチモンジセセリ	・ヤマトシジミ・イチモンジセセリ・スジグロシロチョウ
・ナミテントウ		・クズクビボソハムシ
	・アブラゼミ	・ミンミンゼミ・ニイニイゼミ